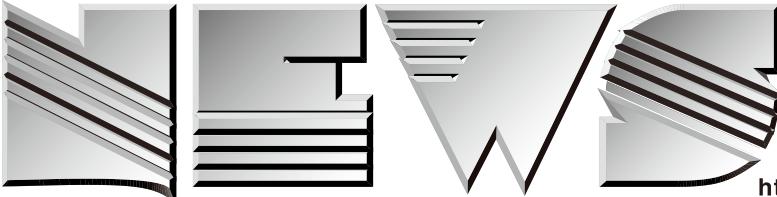




いのちに
まちづくり
やさしい



千葉県地域ねこ活動連絡協議会・結成



平成28年、千葉県内で活動している6つの地域ねこ活動団体が集まり「千葉県地域ねこ活動連絡協議会（以下、県猫）」を立ち上げました。

船橋市で活動している「NPO法人ふなばし地域ねこ活動」、千葉市で活動している「千葉地域ねこ活動」、習志野市で活動している「ならしの地域ねこ活動」、八千代市で活動している「やちよ地域ねこ活動」、佐倉市で活動している「さくら地域ねこの会」、市川市と船橋市に現場を持つ「人も幸せネコも幸せ」、そして5月には浦安市で活動している「浦安地域猫連絡会」が新たに加わり、全7団体となりました。

千葉県は山もあり海もあるような自然環境に恵まれたところです。しかし東京に近い都市化された地域では、野良猫が問題になっています。野良猫問題が起きた場所では、地域ねこ活動が広がります。

面白いことに千葉県では、市川市→船橋市→千葉市→習志野市→浦安市→八千代市→佐倉市…と言うように地域ねこ活動が「東京から近い場所から」広がってきたのです。それだけ都市化された地域では野良猫が問題になりやすいという証なのではないでしょうか。

県猫結成の目的は、千葉県全体に地域ねこ活動を普及啓発していくことです。具体的な活動はセミナー・勉強会の開催、各自治体との意見交換、事業提

寄稿：千葉県地域ねこ活動連絡協議会会長 清水真由美さん



NPO法人ふなばし地域ねこ活動理事長

案などです。それぞれが受け持つ市以外の場所にも県猫として出向き、その自治体と話し合いをして問題解決にあたっています。

それから各団体のブログを「県猫ブログ」として一本化しました。一本化したことによって、それぞれバラバラに発信していた事が一つのブログに集約され、県内の地域ねこ活動の情報をまとめて伝えやすくなりました。

「千葉県の問題をどこに相談したらいいのか」「県内の地域ねこの状況を知りたい」と思っている方々もいろんなブログを渡り歩くことなく、一つのブログで情報が得られますし、各ブログの読者だった方々にも他の団体の活動の様子を伝えることができるようになりましたので、ブログを一本化したことは大きな成果があったと思います。

県猫としての当面の活動は、地域ねこ活動に取り組んでいない県内の自治体や町会、住民に対して地域ねこ活動を普及啓発することだと考え、年に一度か二度のセミナー開催を予定しています。

そのように県猫が活動を続けていくことで、千葉県内で活動を始めてくれる個人・団体・町会・自治体が増えてくると期待しています。

写真はどちらもH28年5月15日県猫セミナーにて



地域猫トイレ設置講習会

工藤 久美子 NPOねこだすけ代表理事
東京都動物愛護推進員



都内初の「地域猫トイレ講習会」を開催いたしました。

2年前に板橋区で、町会主催の猫トイレ設置移動教室を開催いたしましたが、これは町会の方々、保健所職員、私共ねこだすけボランティアが揃って町中を歩き、トイレを設置していくという、まさに移動設置教室でした。

この板橋区での経験は正に目から鱗でございました。

●不妊去勢手術をまだ行っていないにも関わらず、猫トイレ設置後は、苦情が激減。

つまり苦情＝糞尿苦情であることが明確となりました。

●TNRは勿論ですが、糞尿への対応策として、猫トイレの設置が有効です。

地域猫トイレの種類

●プランタートイレ



ご自宅の敷地内、或いはパーキング、空き地に向いています。

しかしこれは物体を置く事になりますのでパーキング、空地いずれも所有者の方に活動のご説明をして了解を頂く必要があります。

●土盛りトイレ

公園に最適です。植木の後ろ等、目立たない場所の土を柔らかく掘り返し、そこに猫の糞や猫がトイレとしている臭い付きの土を混ぜる。

トイレの存在をアピールしたい場合は、その辺にある小石で囲む。



その場で作れる、簡単猫トイレ パネルの縮小サイズ

をホームページからプリントできます。



>ねこだすけ>アーカイブ>
チラシ・ポスターはこちらから
>チラシ・ポスター

この方法は、単に土を掘り起こし糞の清掃をするだけですので、公園や空き地管理者の方々には「糞の清掃をしております」と伝えるだけ…。

●砂盛りトイレ

これも公園、パーキング、空き地に向いています。いずれの場所でも、アスファルトでしたらそれに似た色合い、コンクリートでしたら、それに似た色合いの砂を選びます。



(1) 近くの砂を集め



(2) 目的の場所に運んだら



(3) 少し盛り上げて、糞や尿で臭い付けをします。

餌をあげている間にトイレの清掃、ついでに空き缶やゴミも片付けます。

おおってきましたら、土、砂を取り換えます。またEM菌等の消臭剤もお勧めです。



よくあるご質問

●トイレを作ったが使ってくれない。

猫さんの好みを調べてください。土、砂、砂利、猫さんにより違います。

●トイレを作る場所が無い。

猫のお尻が乗るスペースがあれば大丈夫です。側溝に溜まる砂を掃き集めて、電信柱の後ろに盛る。これは、ワンちゃんも使ってくれます。

大切なポイントは

●トイレの清掃時に、近隣の方々とのコミュニケーションを持つ。

これにより、住民の皆さんのお気持ち、お考えが分かり様々な問題への早い対応が可能となります。

書籍を贈っていただきました。

1. それでも命を買いますか？

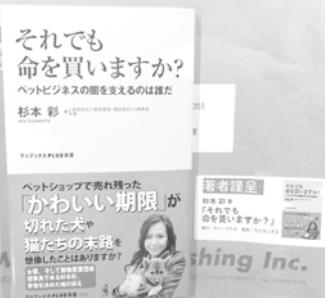
著者／杉本彩（公財）動物環境・福祉

協会Eva理事長 女優 ワニブックス

[PLUS] 新書 発行2016年3月

定価：896円（税込）

1



2. ねこ占い 著者／マーク・矢崎治信

PHP研究所 発行2016年6月

定価：1,400円（税別）

3. 猫とともに 編集／にゃん友委員会

講談社 発行2016年7月

定価：850円（税別）

2



3



地域猫対策、現場活動の合間に…

行事計画＆結果…!!

ねこだすけではセミナーなどの際に、ご参加者全員に参考資料セットをお渡ししています。講演などが増えてしまい、広報紙に掲載した地域猫関連記事のバックナンバーが無くなってしまいました。その他の広報チラシなどは増刷していますが、広報紙はなるべくホームページからご覧いただけます。

これから行事計画 H28年地域猫セミナーなど

- 11.26 新宿区・人と猫との調和のとれたまちづくりセミナー
- 11.19 清瀬市・飼い主のいない猫対策セミナー
- 10.30 港区・地域猫対策／猫トイレ講習会・相談会
- 10.16 狛江市・地域猫対策セミナー（仮称）
- 10.15 日進市・地域猫対策セミナー（仮称）
- 10.8~9 港区・みなとまつり（動物愛護推進員テント）
- 10.1 国立市・通称にゃんにゃんセミナー
- 9.29 豊島区・地域猫講演会
- 9.24 東松山市・地域猫セミナー（仮称）
- 8.28 東大和市・地域猫対策セミナー（仮称）
- 7.30 川崎市・地域猫セミナー（仮称）

さまざまな行事に参加しました。

飼い主のいない猫対策セミナーin相師谷 H28年7月9日。

どのような無理難題にも、10数年の実績と経験で対応できるチームリーダーがいるところでは、三者協働をすすめる役所も自信満々です。

世田谷区では年間2回のセミナーを24～5回続けているとのこと。いつもより広い会場を役所が用意したのですが、椅子が足りなくなりました。8割以上の方が同区内在住の皆さまでした。

講師はチームSLP田矢さん、元町会長の三浦さん、

ねこだすけ工藤。ほかに一般参加の、致死処分ゼロを続ける国立地域猫の会・猫のゆりかご後藤代表、新宿区通称地域猫協議会高木顧問、獣医師で東京都センター新田職員から一言づついただきました。

目黒・第1回地域猫相談会・地域猫トイレ講習会

H28年5月29日、地域猫対策の講座とご相談会、猫トイレの作り方講習会。地域のTNRボランティアさんたちが開催。解説役はねこだすけ代表工藤。

お近くのスーパーや百円ショップの用具などを使い、どなたでもできる外猫トイレ数種類の見本をテーブル上でお知らせしました。

一般参加の役人、議員、獣医師、ボランティアリーダーの方々など多くの皆さまにお手伝いやご参加

いただきました。恒例の片付け終了後にスタッフ集合…。

※前頁に関連記事あります。



第1回ふじみ野市地域猫セミナー H28年5月21日、野良猫が増えてお困りな方、解決策と一緒に考えませんか？飼い主のいない猫の問題について、地域で取り組んでみませんか？

主催はふじみ野ねこの会、後援ふじみ野市。横浜市職員「地域猫のすすめ」著者黒澤泰氏とねこだすけ工藤が講演しました。

市内には二十数年も前から、TNRを続けられている方や、野良猫問題に精通している方など、類を見ない情報量を感じました。一般参加の役人も多数でした。



第1回千葉県地域ねこ活動セミナー

H28年5月15日、午後1時半から5時半まで時間たっぷり。主催は県内の地域猫対策チームリーダーが構成した「千葉県地域ねこ活動連絡協議会」の6団体。第二部で役所のほか、ねこだすけ代表工藤も講演しました。

※表紙頁に関連記事あります。



飼い主のいない猫 対策セミナーin堀切・小菅 H28年4月30日、夕方6時半からです。主催は葛飾小菅地域ねこを考える会。ねこだすけ工藤ほか、地域で既に取り組んでいる方などからの事例報告や、情報交換が行われました。



小平地域猫セミナー H28年3月27日、主催共催が小平市と小平地域猫の会、協力と講師をねこだすけ工藤が担当。会場の設営は役所の役割分担です。

小林正則市長は開会時からご来場です。猫にまつわる身近なお話やご挨拶をいただきました。（下の写真）通常の来賓は少しの挨拶で次に向かわれるのですが、講演にも長時間耳を傾けられました。

市民、役人、ボランティア三者協働の有志で集合写真…



うらやす第2回地域猫セミナー H28年3月26日、のら猫でお困りのことはありませんか？猫の好きな方も、猫でお困りの方も、お気軽にご参加ください。

主催は浦安地域猫連絡会、後援浦安市、協力ねこだすけ。H27年度同市市民活動補助金交付事業としてのセミナーです。主催や後援、協力などの仕組みは各地でさまざまのようですが、猫にまつわる地域の課題はどこでも同じようです。



港区・まちの猫セミナー H28年3月20日～地域猫活動・みんなどうやってるの？～地域猫活動に関するアンケート結果報告とボランティアによる情報交換会。進行はみなと保健所と東京都動物愛護推進員・ねこだすけ工藤。



主催が港区みなと保健所生活衛生課。同区の大きな違いは、区内に限らずどこでも使える野良猫手術費助成金制度で、区民の間でも好評です。

第1回小金井市飼い主のいない猫対策セミナー



H28年3月13日、同市は同対策に未だ積極的とはいせず、少し勇気を出した市民ボランティアが役所を徐々に巻き込み始めました。主催：小金井地域猫の会／後援：小金井市／協力：猫のゆりかご（国立地域猫の会）NPOねこだすけ／講師：横浜市獣医師職員「地域猫のすすめ」著者黒澤泰氏、NPOねこだすけ代表理事工藤久美子。

第5回国分寺にゃんにゃんセミナー



12日、飼い主のいない猫に困っている方へ～問題解決には地域猫～。国分寺地域猫の会と国

分寺市の共催、講師は猫のゆりかご（国立地域猫の会）代表後藤由美子さんとNPOねこだすけ代表理事工藤久美子。開催協力が猫のゆりかごとねこだすけ、回を重ねた同市では会場の借り入れや事前の告知、当日の設営やセミナー進行等の役割分担も役所です。

ボランティアは受付けその他でお手伝い。お決まりになった会場撤収後の有志集合写真。

東村山市地域猫セミナー H28年3月6日、東村山市環境住宅課主催、第1部はねこだすけ工藤の講演。



第2部はテーブルを4地区別に並べ替えて、各地区的ボランティアさんや市民と、リーダー格の方々とで地域別

情報交換会を行いました。

同市は数年前から担当を決め、さまざまな地域猫対策用広報資料などを用意しています。



新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会総会 H28年3月5日開催。同区では地域猫対策をすすめ、区民と協働する

「人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会」を構成し約十年になります。吉住区長が名誉会長、

ねこだすけ工藤が会長、事務局は保健所。

地域猫対策は、地域自治活動の一環であることへの理解が伴い、区と同じ目的を目指す区民が主体となるとき、上手にすすめられています。役所の理解が少なく、市民に行動を強いる場合や、逆に市民の理解が得られず、役所に多くを求め過ぎる場合には、すすみにくいこともあります。総会では課題や目標、反省や行動計画なども具体的になりました。

豊島区・地域猫活動意見交換会



H28年3月4日は豊島区池袋保健所が行うボランティア講習会で、ねこだすけ工藤が、地域猫活動のあり方などをテーマに講演しました。

愛媛松山・地域猫セミナー H28年2月28日、えひめイヌ・ネコの会主催、講師は横浜市職員黒澤泰氏と、ねこだすけ工藤。猫対策に苦情をお持ちの方も含めて、猫との共生を目指すさまざまな思いや、



具体的な対策を求める方が集いました。

主催のえひめイヌ・ネコの会は、

そのような状況の中で20年近くの経験です。

地域ねこセミナーinみしま(静岡県三島市)

H28年2月21日、猫が好きな人も嫌いな人も、ぜひご参加ください。主催と共催は同市役所環境政策課とNPO動物ノート。講演は静岡県と同市のそれぞれの担当職員とねこだすけ工藤。



気候も穏やかで、

人情味も思われる風土の中、地域猫対策が根付きます。

第1回越谷市人と動物が共生する社会づくりセミナー H28年2月14日開催。地域猫対策チームリーダー、TNRを続ける市民、動物保護を思う議員、県と市の職員、近隣他市の職員などなど、開会間際に数十脚の椅子を追加しました。

野良猫対策を必要とする地域に暮らす人々が主体となる「地域猫対策」の比較的やり易い在り方の具体例などが紹介されました。



ねこだすけもお手伝いさせていただいた各種行事

仙台市飼い主のいない猫ボランティアセミナー、H28年2月8日の終了後、市内有数の繁華街国分町で地域猫対策の現地集会?です。課題と今後の計画を詰めました。猫の通り道を辿りながらの検討会で、ボランティアさん猫さんお役所さん、本当にご苦労様です。

翌日は職員と共に、共同住宅の集会室で約2時間ほどの猫対策会議に同席。ウンチが溜まり臭うとのことでしたので、その場で砂を石で囲んだ簡単トイレを作りました。お掃除の役割分担も話題になり、これからの地域猫対策エリアの誕生に期待できます。

役所のホームページには『一人の力は小さくとも、たくさんの力が集まれば、全てのいのちに優しい街づくりを進めることができます。飼い主のいない猫

を支える人たちと一緒に活動するためのセミナーをアニパル仙台（動物管理センター）で開催致します。』…とありました。



練馬・地域猫シンポジウム H28年1月31日、主催はNPOねりまねこ、後援練馬区。パネルディスカッション参加は、(敬称略)横浜市職員・獣医師・地域猫のすすめ著者黒澤泰、ハナ動物病院院長・NPOゴールゼロ副理事長太田快作、NPO法人ねこけん代表溝上奈緒子、NPOねりまねこ理事長・同副理事長亀山知弘・嘉代、NPOねこだすけ代表理事工藤久美子。客席に一般参加のEva代表杉本彩さんからもご挨拶をいただきました。



江東区飼い主のいない猫を考えるセミナー、H28年1月24日。開催目的の一つに、ご参加のうちのどなたか、例えばお1人でも「地域猫対策の推進役に名乗り出でていただける。」こととの遭遇があります。セミナー後一週間ほどしてから、嬉しいご連絡をいただきました。

同区には区長も推奨する通称地域猫普及委員会議があり「人と猫が共生できる町を目指して！」活発に活動しています。

チラシやポスター、ジャンパー等のほか今年はオリジナル地域猫カレンダーでの普及も行われました。

東京オリンピックの工事も始まり、野良猫対策の検討も起っています。全国各地で各種の問題山積ですが、できることをできる範囲で、無理をしないで、コツコツと…、でしょうか?



板橋地域猫セミナー H28年1月23日開催。多くの自治体ではそれぞれの理由から地域猫対策が進められているものと思われます。

●住民自治活動として●身勝手なエサやりさん対策●動物擁護の思いから●野良猫対策の方法がほかにない●役所とうまく協働する市民リーダーがいる

いずれにしろ、法令遵守の中で地元の行政とどうすれば協働できるのかと問い合わせるボランティアさんも増えました。一方で、市民と役所が何故協働できないのか？その理解に至らない地域も多い中、各地でセミナーが頻繁に開かれています。



山形市地域猫セミナー H27年12月20日、前日の調布市に続き、下の記事の様に講師も高木さんとご一緒にねこだすけ工藤です。山形駅前霞城セントラル23階の山形市市民活動支援センター会議室が一杯になりました。新聞やTVの取材がありました。

主催は地元の野良猫クラブ、山形県後援で、やまがた社会貢献基金協働助成事業により実施。



調布市・地域猫対策講演会 H27年12月19日、講演は「地域猫対策でトラブル解消」高木優治氏(新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会顧問)・「いのちにやさしい街づくり」工藤久美子(NPOねこだすけ代表理事、東京都動物愛護推進員)、調布市環境部環境政策課主催。

ボランティアさんや市内有識者の皆さん、市民と勿論お役所もそれぞれの立場で猫問題に取り組みます。



清瀬市飼い主のいない猫対策セミナー H27年12月5日、共催：清瀬市水と緑の環境課・きよせ猫耳の会、協力・講演は猫のゆりかご(国立地域猫の会)とNPOねこだすけ。地域猫の問題でお困りの方、地域猫活動に関心のある方、どなたでもお気軽に越しいただけるセミナーを開催しました。

ここでもさまざまな肩書きの皆さまの役割分担で、閉会後に恒例になった有志の集合写真…。



続：地域猫対策のイベントなど…

猫問題、餌やり禁止じゃ解決しない H27年11月28日、新宿区通称地域猫セミナー。年に一度で15回めですから足掛け16年間です。

新宿区第1回にゃんにゃんセミナーから、ねこだすけは講師の出演交渉やプログラム、会場設営、事前広報などに積極的でしたが、代表工藤の講師講演は今回が始めてです。

これまでに同区では猫の引き取りを90%以上も減らしました。「三者協働地域猫」や「TNR・トラップニューターリターン」も、国内には実はここから発信されました。

餌をやれともやるなども言えない役所と共に、野良猫擁護の信念のもと、市民・役所・ボランティア

それぞれの勢力分野の中で、合理的な整合性のとれた地域猫対策を、時には原点を振り返りながらすすめ続けたいと思うのです。（き）



所沢飼い主のいない猫対策セミナー H27年11月21日。埼玉県上田清司知事から「地域猫対策は行政だけではできない、地域住民、ボランティア、行政との協力が不可欠。」などや「所沢市と三者協働の地域猫対策の発展を祈念する。」などのメッセージが寄せられました。

一般市民と推進役のボランティアさん、役人や議員など肩書きもさまざまな皆さんと閉会後に有志の記念の集合写真です。



地元ケーブルTVの取材撮影でもお顔は控えていたようで、こちらもピンボケでお許しください。

世田谷区飼い主のいない猫対策セミナー H27年11月14日、第23回め。年間2回の開催ですから、同区の地域猫対策は12年以上続いています。

核となるボランティアリーダーと区と地域住民との素敵な関係づくりがあるからこそ、地域に根付いた現実的で具体的な内容のセミナーでした。



チームSLP／セービング・ライフ・パートナー主宰田矢さんと、ねこだすけ工藤が講師役に。

習志野にゃんにゃんセミナー H27年11月7日、地域猫対策と猫擁護運動の違いを目の当たりに。役所には出来る出来ないがあり、原則根拠法のもとで決めたことを役人が行います。

市民は役所の出来ない事も、役所にやって欲しいと訴えます。また、役所がやってはいけないことを

役人がやろうとすることもあります。どちらも担当官はとまどいますから、市民との情報交換は大事です。

講師は県のご担当やボランティアリーダーとねこだすけ工藤が分担。野良猫の擁護を思い行い続けているボランティアさん大勢も聴衆でした。

下の佐倉ほか、船橋、千葉など県内各地区的チームで構成する、地域ねこ活動連絡協議会も機能を強めています。



佐倉地域猫セミナー H27年10月25日、始めての開催です。休日の一般参加ながらマイクを渡され、動物愛護施策について話していただけた県の職員さん、同じく一般参加の市の職員さんたちも熱心にメモ。

猫や動物愛護に関わる方々も大勢ご参加。既に地域猫対策についてのイメージは広がっているようですが、役所のできること、ボランティアさんの望む事、猫を好ましく思わない市民やそのほかの皆様のお考えなどとの、適切な三者協働の関係作りが進むものと感じられました。



さがみはら動物愛護キャンペーン H27年10月24日、地域ボランティア、獣医師会、行政などが大規模商業施設のオープンスペースで動物愛護を盛り上げました。

地域猫対策の解説にねこだすけも講演しました。



ここから下の記事は、ねこだすけニュース号外Vol.41から、大部分を割愛しながら引用しました。お手数ですが全文のご購読は下記URLからお願いします。

http://awn.sub.jp/nnn/nekonews_19.html

みなと区民まつり H27年10月10～11日ブースは100を超える大規模なイベントです。ステージも4～5箇所を超えるそうです。

港区みなと保健所と、同区動物愛護推進員がテントのブースで地域猫対策を紹介。初日のステージでは、区の動物愛護パネルの解説や、地域猫対策をご案内しました。芝地区のキャラクターしばじろうを、区の女子職員が担当。中央MCは同推進員で同区議の阿部浩子氏、左の地域猫解説はねこだすけ代表工藤久美子。



柏江市第14回にゃんにゃんセミナー H27年10月4日、年に一度の開催ですから、同市と柏江地域ねこの会が協働活動を起こしてから14年続いています。

この対策が続くと地域に根付き、引き継がれるのですが、先々を考え始めると理想的には14~5~6歳位は年下の後継者作りの悩みを抱えています。



講師は元新宿区職員・同区人と猫との調和のとれたまちづくり協議会顧問の高木優治氏と、同会会長でねこだすけ代表工藤。

第9回国立にゃんにゃんセミナー H27年10月3日、国立市役所が主催し、国立地域猫の会・猫のゆりかご（代表後藤由美子）と協働で開催。講師は地域猫のすすめ著者、横浜市職員獣医師の黒澤泰氏とNPOねこだすけ代表理事工藤久美子。今回は特別に「お母様と一緒のお子様にも」が主催者のテーマです。

遠くえひめイヌ・ネコの会ほか、近隣の地域猫対策チームリーダーの方々、また他の自治体の職員や議員などがご参加。役所、地域、ボランティアの三者協働地域猫対策の積み重ねが、猫の引取処分ゼロの継続に現れています。



今、出来ることを、出来る範囲で、決して無理をしないで!!

ご支援ご協力・ボランティア参加をどうぞよろしくお願ひいたします。

地域猫対策や、人と動物との適切な関係づくりの広がりを願っています。

ペットブームといわれる中で、何が適切でどうすれば不適切なことがらを改められるのか？疑問の残るアクシデントも多いです。

さまざまな出来事に合うとき、改善要請活動も頻繁です。どうぞ支えてください。

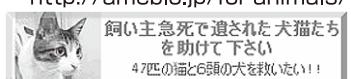
ねこだすけでは収益事業を行っていません。皆さまのご支援とボランティアさんに頼っています。

- 猫に手をのべるときフードは欠かせません。地域猫対策の他、多数頭の保護先で使用します。
- トイレ砂や獣医薬品なども助かります。
- 倉庫が手狭のため、ご支援の品々はその都度転送しています。未使用の切手は宅配の郵便袋に使えますし、書き損じはがきは切手に交換します。
- 各種金券・図書などのカード類・商品券・ギフト券、収入印紙も換金が容易です。
- 皆さまへのお知らせやイベントなどの通信連絡、配送等に役立つ事務用品の、例えばコピー用紙、プリント用紙、オフィスのり、ビニールひも、粘着テープなどの消耗品は少量でも有り難いです。どうぞよろしくお願ひいたします。

やむを得ない事情から、猫や犬を多頭数保護養育しています。

保護先のボランティアメンバーにفردなどご支援をお願いいたします。犬用を含みます。8頁のねこだすけ迄ご支援物資を送付してください。随時現場に転送します。お問い合わせいただけますと直接の送付先をお知らせいたします。

<http://ameblo.jp/for-animals/>



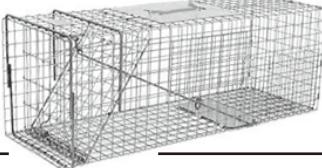
トラップケージ 動物保護目的の地域猫対策に限る、直輸入捕獲用ケージ

- 動物愛護に理解のあるAPLに協力を依頼し、ねこだすけ宛に規定の書式で申し込まれた方に限り、APLから直接購入いただける仕組みをとっています。
- APLではねこだすけに申し込みのない直接販売を行いません。貸し出し用トラップなどをAPLがねこだすけに提供しています。ねこだすけからの直接販売も行いません。
- お申込みの規定書式をご請求ください。2~3枚のご案内用紙をお届けしております。
(HP検索→キャッピングロテクションケージ)

- 古い1枚だけの申込用紙を現在使用しておりませんので、お手数ですか最新の用紙をご請求ください。
- 直輸入のため、ケージ整備調整などのメンテナンスをねこだすけが受け持つております。万が一作動不良などの際には、出庫時同封の書式をご利用の上お問い合わせください。

● 専用のキャリーケース

価格はねこだすけにお問合せ下さい。
サイズ／約25x25x66cm約2.6kg
ペダル(踏み板)式一種類のみ



トラップケージの貸し出し…

地域ねこ対策や動物愛護に限るトラップケージ保護捕獲用かご（左の写真）

- 貸出無料ですが、宅配送料をご負担ください。
- 貸出期間は、一回につき原則最長1ヶ月です。規定の貸出申し込み書式がありますので、お問い合わせください。
- 期間を超える際には、一度必ず返却してください。点検整備を行います。
- よそへの「又貸し」を絶対にしないでください。その都度一度返却し、規定の貸出申込書に記入してください。使う態様により危険な狩猟具にもなります。
- 事情により1ヶ月を超えてしまっている際には、トラップ管理番号と使用報告書を至急通知してください。



ださ
い。
小さ
な声を大
きく強
く地域ね
こネット
ワーク
ご支援、
ご賛同を
いただけ
ますと…

小さな声を大きく強く 地域ねこネットワーク
ご支援、ご賛同をいただけますと…

ねこだすけニュースをお届けし、動物の擁護や福祉の普及啓発広報事業などをお知らせします。

いのちにやさしいまちづくり 人と動物と、すてきな関係… ねこだすけへの誘い

いのちにやさしいまちづくりをめざして、地域ねこ対策や動物愛護活動を進めています。皆さまにご参加をいたしています。

ねこだすけは、ねこや動物を思う皆さまに支えてくれます。皆さま、ぜひ会員になってください。

いのちにやさしいまちづくりを目指す活動に賛同していただけます。

地域ねこ対策や動物愛護の活動は、政治や思想に立たず、公正に運営されます。地域ねこや動物の情報ネットワークを進めます。動物を愛する様な立場の皆さまに支えられています。

ボランティアのチームワークで運営される、地域ねこや動物の情報ネットワークを進めます。動物を愛する様な立場の皆さまに支えられています。

超党派の議員、大勢の獣医師から賛同をいたしています。

ねこを快く思わない方とも、また行政などと一緒に協働し、同じ目的の地域ねこ対策を進めます。

ボランティアのチームワークで運営される、地域ねこや動物の情報ネットワークを進めます。動物を愛する様な立場の皆さまに支えられています。

ボランティアさんがそれぞれの立場で、ねこや動物に今できることをできる範囲で行い、次の世代につながることを願っています。

いつでも、どこでも、ねこや動物に心を動かされている皆さまにご参加をいたしています。

ねこの保護や救済、通院などのご相談にお応えし、人と動物との適切な関係づくりを広げます。社会のさまざまな分野に働きかけ、協力を促します。

ねこを快く思わない方とも、また行政などと一緒に協働し、同じ目的の地域ねこ対策を進めます。

地域ねこ対策や動物愛護の活動は、政治や思想に立たず、公正に運営されます。地域ねこや動物の情報ネットワークを進めます。動物を愛する様な立場の皆さまに支えられています。

ねこだすけは、小さいのちにやさしいまちづくりを目指します。1年間に数万匹ものねこが不幸に死ります。少しの手助けで不幸なねこをなくせます。

資料を郵送します。
ご住所をお知らせください。

入会お申込・お問い合わせは…

電話・Fax. 03-3350-6440

郵送・宅配 〒160-0015 東京都新宿区大京町5-15-203

NPO ねこだすけ <http://nekodasuke.main.jp>
[facebook.com / nekodasuke](https://facebook.com/nekodasuke)

●このニュースが不適切に届けられた際にはご容赦ください。

会員種別	年会費	摘要
A ジュニアパートナー	1,000円	高校生以下
B パートナー 3	3,000円	個人
C パートナー 5	5,000円	個人
D パートナー 7	7,000円	個人
E サポーター	10,000円以上	個人
F スポンサー	5,000円以上	法人・団体・企業
G ご寄付		年会費を除く随時

※NPO制度の構成員(例:会社などの社員に当たる)を正会員といい、A~Fはいづれも賛助会員です。種別は会費のご負担額をお選びいただけることを目的にしており、次年度より変更できます。

●アクション会員やサポート会員、パトロン制度などの区別はありません。特別の場合を除き活動への参加は任意で自由です。

※地域ねこ活動が拡がっています。

どうぞ対策費のご寄付をお願いいたします。

●ご不要になった未使用の切手・書き損じハガキは郵便パックや資料送付に転用します。各種金券やカード類・ギフトカード・収入印紙等は換金も容易です。保管場所が狭く、ケージや物資などの宅配出庫回数が増えました。配送費用にご支援をお願いいたします。

電話はほぼFax.です。スタッフシフトが不定期のため、ご相談日を除きお手数ですが、お名前・ご住所・お電話番号・なるべくFax.番号・お問い合わせ内容を手短にご記入の上ファクシミリ送信か郵送をお願いいたします。折り返しのご連絡には時間のかかる場合もありますが悪しからずご容赦ください。(※Eメールでのご相談受付シフトは整っていません。)

活動 地域ねこ対策や、ねこの保護救済以外の活動内容

- 動物愛護の普及や啓発
- 動物の法規法令等の普及啓発と実行の推進
- 全国の愛護動物行政に対する適切な執行のお願い
- 不適切な行政措置や慣行による違法措置などの改廃
- 緊急災害時、動物救済要綱などの制定推進

- 不適切に飼養される動物の改善
- 不適切な愛玩動物煽動風潮の抑止
- 生物多様性に関する動物の保全
- 動物擁護の普及
- 動物福祉の推進

- 動物愛護普及啓発イベントの開催
- 動物ネットワークの推進
- 学習会や相談会、セミナー開催
- ねこの譲渡・飼い方相談
- チームや支部などの支援 ほか

平成25年の改正動物愛護法から、法律文中の「ねこ」が漢字の「猫」に変わりました。ねこだすけではこだわらずに、猫、ねこ、ネコを併用しています。

地域猫の普及啓発パネル

書式は右のホームページよりプリント可

発砲スチロール板に加工した、手作りの地域猫パネルを貸し出しています。所定の申し込み書式をご利用ください。パネルの種類はねこだすけニュース33号に掲載。

●展示会場やイベント内容の概略をご連絡いただきますと、点数などを選別いたします。それぞれB3サイズです。●貸し出し費用は無料ですが、送料を貯出時、返却時共ご利用者さまのご負担をお願いいたします。●地域猫対策の直接的な普及啓発などの使用に限らせていただきます。●募金やフリーマーケット、譲渡会などが目的の場合はパネル内容と合致しない場合がありますので、ご利用をお控えいただいております。

ホームページからプリントできます。

ねこだすけニュースバックナンバー
動物愛護法ポスター

ファクトシートの一部
行政資料の一部 ほか

新 [ねこだすけ アーカイブ]

検索

(旧) [ねこだすけ ファクトシートもくじ]

検索

●個人向けの資料としてご活用ください。●複製や印刷、大量コピーなどでご利用の際にはご連絡ください。●現在、ファクトシートの頒布を行っていませんが、ダウンロードは従来通りです。